

2019

# ビューティスペシャリスト科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

## シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会となります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

別表2

## ビューティスペシャリスト科 教育課程

区分		履修科目名	1年		2年		合計		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必須科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能	2	60			2	60
			皮膚科学	1	30			1	30
			公衆衛生			1	30	1	30
			化粧品化学			1	30	1	30
			色彩化学	1	30			1	30
		実習	ブライダル概論	1	30			1	30
			アロマセラピー基礎	2	60			2	60
			ネイル基礎	4	120			4	120
			メイクアップ基礎	4	120			4	120
			ヘアアレンジ基礎	1	30			1	30
キャリア基礎力	講義	着付け基礎			2	60	2	60	
		エステ基礎	4	120			4	120	
		ビジネスと仕事の実践			1	30	1	30	
		サービスマナー	1	30			1	30	
必須科目計			21	630	5	150	26	780	
選択必須科目	メイク分野	講義実習	メイクアップ I	4	120			4	120
			メイクアップ II			4	120	4	120
			イメージメイク	2	60			2	60
			イメージメイク応用	2	60			2	60
			ブライダルメイク	2	60			2	60
			撮影メイク			2	60	2	60
			コスメティック販売実習			2	60	2	60
			メイクセラピー I	1	30			1	30
			メイクセラピー II			1	30	1	30
			メイクセラピー III			1	30	1	30
	ネイル分野	講義実習	ネイル I	10	300			10	300
			ネイル II			10	300	10	300
			ネイル III			2	60	2	60
	エステ分野	講義実習	解剖生理学 I	2	60			2	60
			解剖生理学 II			2	60	2	60
			エステ(ボディ)	8	240			8	240
			エステ(フェイシャル)			8	240	8	240
	トータルビューティ分野	講義実習	アロマセラピー I			1	30	1	30
			パーソナルカラー			1	30	1	30
			ヘアアレンジ I			1	30	1	30
メイクアップ応用					2	60	2	60	
		トータルコーディネート			1	30	1	30	
選択必須科目計			31	930	38	1,140	69	2,070	
選択科目	※トータルビューティ分野	講義実習	メイクアップ特論 I			4	120	4	120
			メイクアップ特論 II			4	120	4	120
			ネイル特論 I			4	120	4	120
			ネイル特論 II			4	120	4	120
			エステ特論 I			4	120	4	120
			エステ特論 II			4	120	4	120
			パーソナルカラー実習 I			1	30	1	30
	※ビジネス基礎力分野	講義実習 実技 研修	プロップアート	1	30			1	30
			サービスマナー特論	1	30			1	30
			基本 IT 技術			1	30	1	30
			キャリアデザイン	1	30			1	30
			プレゼンテーション			1	30	1	30
			ビジネス文章力	1	30			1	30
			論理的思考力基礎	1	30			1	30
			ビジネス英語			1	30	1	30
			インタビュ			1	30	1	30
			サロン運営 I			2	60	2	60
			サロン運営 II			2	60	2	60
			サロン運営 III			2	60	2	60
			イベントプロデュース	1	30			1	30
企業研究			1	30	1	30			
企業研修			1	30	1	30			
ボランティア活動	1	30	1	30	2	60			
選択科目計			7	210	38	1,140	45	1,350	
総計(必須+選択必須+選択)			59	1,770	81	2,430	140	4,200	

## 卒業要件資格

- ・共通 : JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 パーソナルカラリスト検定3級 アロマセラピー検定2級
- ・共通エステティック分野選択者 : 国際エステティック連盟(INFA)ボディバースポート試験
- ・メイクアップアドバイザー分野選択者 : JMA日本メイクアップ技術検定2級 メイクセラピー検定3級
- ・ネイリスト分野選択者 : JMA日本ネイリスト検定2級 JNAジェルネイル検定初級

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※卒業の要件:必須科目25単位(750時間)および選択必須目及び選択科目合わせて12単位(360時間)以上、計64単位(1920時間)以上の履修

科目名	人体の構造及び機能	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を確認する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の基礎を学び習得する</li> <li>健康や美しさを維持するための基本知識を習得する</li> </ul>							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	導入 美しさと健康	座学の学習の進め方を学ぶ 解剖生理学について学ぶ 解剖生理学を学ぶことでどんな事が解決できるかを知る						
第2週	細胞 組織・器官・系統	細胞とは何かを学ぶ 組織・器官・系統とは何かを学ぶ						
第3週	骨格系統 1 骨格系統 2	骨の名称 働き 骨粗しょう症について学ぶ 骨と関節の構造と役割について学ぶ						
第4週	筋肉 1 筋肉 2	筋肉の構造と働きを学ぶ マッサージへの影響を学ぶ 筋肉の名称と場所を学ぶ(起始・停止)						
第5週	消化器 1 消化器 2	消化器の構造を学ぶ ・消化作用 消化器について学ぶ ・胃・小腸・大腸・肝臓・すい臓						
第6週	栄養学	3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー グループワーク						
第7週	栄養素	各栄養素についてグループ発表						
第8週	呼吸器	呼吸器系について学ぶ ・腹式呼吸と胸式呼吸						
第9週	循環器 1	リンパについて学ぶ ・リンパとは何か ・リンパの流れ						
第10週	循環器 2	循環器について学ぶ ・血液の成分、働き、循環経路 ・静脈・動脈・毛細血管 ・血圧脈拍						
第11週	排泄器	排泄器について学ぶ 腎臓、尿管、尿の生成について学ぶ 腎臓の病気を学ぶ						
第12週	神経系	神経系の基本知識を学ぶ ・大脳と神経の伝導 ・自律神経について学ぶ						
第13週	内分泌	ホルモンについて学ぶ ・作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類						
第14週	期末テスト対策	今までの内容を振り返り、見直し						
第15週	期末テスト	期末テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	皮膚科学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般的生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について学習する。							
授業の一般目標	皮膚は身体の表面を覆い、絶えず外部環境からの刺激にさらされている。そのため、内部諸臓器の保護のみでなく、外界からの情報の感知、身体適応など重要で多彩な役割を果たしている。学生が将来美容界において指導的な役割を担うため、美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	I 皮膚の構造 (1)	①皮膚の表面 ②皮膚の断面						
第2回	I 皮膚の構造 (2)	③表皮 ④表皮と真皮の境						
第3回	I 皮膚の構造 (3)	⑤真皮 ⑥皮下組織 ⑦皮膚の部位差ならびに人種差						
第4回	II 皮膚附属器官の構造 (1)	①毛 (毛の構造、型と生長周期、型の変化、毛の生長 等)						
第5回	II 皮膚附属器官の構造 (2)	①毛 (続き) (毛の性状、立毛筋 等)						
第6回	II 皮膚附属器官の構造 (3)	②脂腺 (皮脂腺) ③汗腺 ④爪						
第7回	III 皮膚の循環系と神経系	①皮膚の血管 ②皮膚のリンパ管 ③皮膚の神経						
第8回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (1)	①対外保護作用 ②体温調節機能 ③知覚作用と皮膚反射						
第9回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (2)	④分泌排泄作用 ⑤呼吸作用 ⑥吸収作用 ⑦貯蔵作用						
第10回	IV 皮膚と附属器官の生理機能 (3)	⑧免疫・解毒・排除作用 ⑨ビタミンD形成作用 ⑩表情作用 ⑪再生作用 ⑫毛のはたらき ⑬爪のはたらき						
第11回	V 皮膚と附属器官の保健 (1)	①皮膚と全身状態 ②皮膚と精神						
第12回	V 皮膚と附属器官の保健 (2)	③皮膚と栄養 ④皮膚とし好品						
第13回	V 皮膚と附属器官の保健 (3)	⑤皮膚と環境 ⑥皮膚と体内病変						
第14回	前期学習のまとめ	質疑応答、演習試験その他						
第15回	前期学習のまとめ	質疑応答、演習試験その他						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	色彩学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学を中心とする。 理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。 また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
授業の一般目標	色の持つ、文化的・感覚的な力を理解し、メイク・ネイル・トータルコーディネート等の実践に生かせる知識を習得する。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	パーソナルカラー検定3級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	色彩学とは	導入						
第2回	四季の自然を表わす色	春/夏/秋/冬に関わる色について						
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色						
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住						
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統						
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色						
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム						
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相						
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果						
第10回	cus配色効果	アンダートーンとは						
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック						
第12回	ブライダルと色彩	ウエディングと配色調和						
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ						
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー						
第15回	検定対策	パーソナルカラー3級検定試験対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ブライダル概論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現在の日本におけるブライダル事情の概要を知り、ブライダルとは何か？どんな意味・意義があるのか？そこで従事する人間としてのモラルなどを学ぶ。一般知識としてブライダルに関する基本的な事柄によって理解している事の目安としてプランナー検定3級問題の合格。ブライダル関連に興味を持ち意欲的に行動できるようになる。サービスマナーについても学習し日常生活の中で身に付けるように心がける。							
授業の一般目標	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くためのモラルを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	冠婚葬祭とは何かについて説明できる。2. ブライダル業界の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で、接客サービス業に携わるサービスマナーを身に付ける事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ブライダルとは	ブライダルの歴史・現状など						
第2回	ホテルウエディング	ホテルで行われるウエディングについて						
第3回	ゲストハウスウエディング	ゲストハウスとは？そのウエディングの特徴						
第4回	挙式の種類	挙式の様々なスタイル						
第5回	結婚式の用語	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第6回	ウエディングプランナーとは	プランナーの担う具体的な仕事						
第7回	ウエディングの費用や支払いについてのきまり	費用の歴史的変遷、今後の見通し、支払いのきまりなど						
第8回	ウエディングのコンプライアンス	ウエディング成約における規約について、申込金について						
第9回	現在ウエディング業界を取り巻く問題	BGM著作権問題、成約時トラブル、見積もり額の不透明性						
第10回	今後のウエディング業界の姿とは	今後ウエディングがどの様に変わっていくのか						
第11回	結婚式の人数の変遷と今後の見通し	結婚式のなし婚を考え売り上げにかかわる人数について考察						
第12回	ブライダル従事者として大切な心得	人生で1回のセレモニーを担う責任感と正しい倫理観						
第13回	ブライダル従事者としてのマナーと常識	お客様との会話や応対などで気をつけるべきマナー						
第14回	ブライダルをとりまく、様々なビジネス	付帯ビジネス、パートナービジネスを知る						
第15回	期末試験	1から14までの回で学んだ内容から						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	アロマセラピー基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学を中心とする。理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
授業の一般目標	身体への生理作用を理解し、実践に役立つ知識を習得する。身体への生理作用を理解し、実践に役立つ知識を習得する							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	アロマセラピー検定公式テキスト2級1級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	香りに親しむ	導入・イメージング			色鉛筆			
第2回	アロマセラピーのある暮らし	安全の為の注意						
第3回	アロマセラピーのある暮らし	芳香浴法・沐浴法・吸入法			手ぬぐい・洗面器・お湯要			
第4回	精油のプロフィール	ジュニパーベリー・ティートリー・オレンジスイート						
第5回	精油の基礎知識	精油とは、芳香物質						
第6回	精油のプロフィール	イランイラン・パチュリ・ペチパーメリッサ・レモングラス						
第7回	精油の基礎知識	精油製造法			DVD			
第8回	精油のプロフィール	ローズアソリユート・ローズオットー ジャスミン・ベンゾイン・グレープフルーツ						
第9回	精油の基礎知識	心身に作用する経路・精油の作用						
第10回	精油のプロフィール	ゼラニウム・ユーカリ・ペパーミント・クラリセージ						
第11回	アロマセラピーの歴史	先史時代～古代						
第12回	精油のプロフィール	サンダルウッド・ミルラ・ベンゾイン フランキンセンス・サイプレス						
第13回	アロマセラピーの歴史	中世～近代						
第14回	精油のプロフィール	ローズマリー・ベルガモット・スイートマジョラム ネロリ・ブラックペッパー						
第15回	アロマセラピーの歴史	現代						
第16回	精油のプロフィール	ラベンダー・レモン						
第17回	アロマセラピーと環境	植物とともに生きてきた私たちの歴史 いま、地球が抱える難題						
第18回	アロマセラピーと環境	一人ひとりができることから ハーブについて						
第19回	アロマセラピーの楽しみ方	アロマセラピーの基材						
第20回	アロマセラピーの楽しみ方	アロマセラピーの基材						
第21回	精油のプロフィール	アロマセラピーの学名						
第22回	アロマセラピーに関する法律	アロマセラピーの法律問題						
第23回	アロマセラピーのメカニズムと健康学	脳のしくみと働き						
第24回	アロマセラピーのメカニズムと健康学	嗅覚の生理メカニズム・大脳辺縁系とアロマセラピー						
第25回	アロマセラピーのメカニズムと健康学	精油成分の薬理作用						
第26回	アロマセラピーでホームケア	ホームケアの活用例						
第27回	アロマセラピーのメカニズムと健康学	アロマセラピーの健康学						
第28回	アロマセラピーのメカニズムと健康学	アロマセラピーの健康学						
第29回	検定対策							
第30回	検定対策	模擬テスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ネイル基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	1年前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
授業の一般目標	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム(ベーシック)							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備考		
第1回～ 第4回	初回授業説明 理論	教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論						
第5回～ 第8回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第9回～ 第12回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第13回～ 第16回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論						
第17回～ 第20回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第21回～ 第24回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト						
第25回～ 第28回	ネイルケア基礎	ネイルアート						
第29回～ 第32回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論						
第33回～ 36回	ネイルケア基礎	ネイルアート						
第37回～ 第40回	検定対策	3級対策						
第41回～ 第44回	検定対策	3級対策・模擬検定						
第45回～ 第48回	検定対策	3級対策・模擬検定						
第49回～ 第52回	ネイルケア	3級対策						
第53回～第56 回	ネイル検定3級試験項目 実践	検定試験前の最終確認 弱点の克服						
第57回～ 第60回	ネイルチップ作成	これまで学んだ事を活かし、 カラーリング、アートを施したチップの作成をする						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	メイクアップ基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	1年前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。 メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
授業の一般目標	皮膚科学理論及びスキンケア理論、色彩理論、メイクアップベーシック知識の習得。 スキンケアからベースメイクのテクニックの習得。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回～ 第4回	骨・筋肉 / 準備物	事前準備について。セッティング。スプリングメイク						
第5回～ 第8回	皮膚・表皮 / 順序	ポイントクレンジング						
第9回 第10回	真皮～皮下組織/道具の名称	(Pクレンジング復習)・クレンジング						
第11回～ 第14回	皮膚の生理作用	(クレンジング復習)・乳化・拭き取り						
第15回～ 第18回	スキントypesと肌の手入れ・美しい肌の条件	(拭きとり・乳化復習)・化粧水						
第19回～ 第22回	肌トラブルの原因とアドバイス	(化粧水復習)・ベーススプレッド						
第23回～ 第26回	顔分析	(スキンケア復習)・コントロールカラー・ファンデーション						
第27回～ 第30回	色彩学	(スキンケア・コントロールカラーファンデーション復習) コンシーラー・パウダー						
第31回～ 34回	肌色の構成・光源とメイクアップ	スキンケア復習・ベースメイク復習						
第35回～ 第38回	JMA3級直前対策	JMA3級模擬試験・直前対策						
第39回～ 第42回	JMA3級受験	JMA3級受験						
第43回～ 第46回	セルフメイク検定について	セルフメイク検定の概要 セルフメイクのポイント						
第47回～ 第50回	セルフメイク	セルフメイクの復習						
第51回～第52 回	セルフメイク	セルフメイク検定直前対策						
第53回～ 第56回	セルフメイク検定受験	セルフメイク検定受験						
第57回～ 第60回	期末試験対策	直前対策 試験項目弱点克服						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ヘアアレンジ基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ウィッグ使用の実技中心となる。							
授業の一般目標	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	基礎知識		道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備					
第2回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル					
第3回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル					
第4回	基礎技術 (基礎1)		基礎技術を修得する					
第5回	基礎技術 (基礎2)		・ブラッシング・ピンニング・ホットカーラの巻き方 ・毛髪調整(スタイリング剤の使い方)					
第6回	基礎技術 (基礎3)		・各種タボの作り方・根止め(土台)の作り方 ・ゴムの結び方・逆毛(バックコーミング)の技法					
第7回	基礎技術 (基礎4 一束)		一束にまとめる(・すき毛あり・すき毛なし等)					
第8回	基礎技術 (基礎5 サイド)		サイドのまとめ方(・ひねり上げ・ねじり上げ等)					
第9回	基礎技術 (基礎5 フロント)		フロントのまとめ方(・ボンパドール・各パート分け等)			第1回～第9回までのチェックテスト実施		
第10回	編み込み 基礎技術 かり編む基本法	根元からしつ	基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン ・四つ編み					
第11回	編み込み 基礎技術 み込む	基本技法で編	・各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側表三つ編み込み・両側表編み込み					
第12回	編み込み 基礎技術 み込む	基本技法で編	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく 片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み					
第13回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第14回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第15回	期末テスト対策		編み込みを取り入れたオリジナルアップスタイル作製					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	エステ基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は実技を中心とする。 上達を確認するために、適宜チェックテストを行い、テクニックを確実なものとするようにする。							
授業の一般目標	人体の構造及び機能で学んだ知識を活かし、施術をし、モデルのボディバランスの変化を知ることで施術する喜びを感じる。 人に触れる施術を行うことで、接客する上で心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	導入 肌に触れるという事	準備・時間厳守・身だしなみを整えることを学ぶ ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターバンの巻き方・タオルセットの方法を学ぶ						
第2週	オイル塗布、軽擦を学ぶ	オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける)						
第3週	ヒップアップの手技、指圧を学ぶ	バイブレーション・プレシオン(指圧)						
第4週	足裏のマッサージを学ぶ 強擦法 切打法を学ぶ	かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫						
第5週	足裏のマッサージを学ぶ 足裏の血行促進方法を学ぶ	足の裏8の字・足の裏のプレシオン・足の裏の指圧						
第6週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ タッピング法を習得する	腓腹筋のマッサージ ①腓腹筋のマッサージ ②タッピング						
第7週	ふくらはぎのマッサージを学ぶ 足首ストレッチ法を習得する	内分泌のツボ・足首のストレッチ・足のストレッチ						
第8週	マッサージ後の効果検証	オイル塗布から足のストレッチまで通し(左右の脚で実践) 疑問点・苦手部分を確認する						
第9週	脱毛学 水溶性WAXによる脱毛処理を学ぶ	毛の構造、ヘアサイクルを理解する 水溶性WAXの使用法、注意点を学ぶ						
第10週	セルライトにアプローチする マッサージを学ぶ ペトリサージュを習得する	ペトリサージュ (体の移動・密着を習得する)						
第11週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 1 切打法を習得する	切打 (体の動き・手の動きを習得する)						
第12週	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 2 拍打法を習得する	拍打 (手の動きを習得する)						
第13週	マッサージ後の沈静方法を学ぶ 擦り上げを習得する	擦り上げ (手の動き・手の圧・密着を習得する)						
第14週	フットマッサージ全工程 復習 1	下肢背面 通し確認(左右の脚で実施) 疑問点・苦手部分の克服 下肢背面 通し計測 ヘアで確認しあいアドバイスをして手技を習得する						
第15週	フットマッサージ全工程 復習 2	期末テスト詳細連絡 下肢背面 通し計測						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/</a>			

科目名	サービス接遇	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	1年前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	接客サービス業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める							
授業の一般目標	接客サービス業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	サービス接遇検定2級、準1級の趣旨	オリエンテーションと検定要項の確認			毎回問題集の宿題提出			
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級の要項を確認し、理論実技の出題範囲を把握する			毎回問題集の宿題提出			
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣いと感じの良い接客			毎回問題集の宿題提出			
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法			毎回問題集の宿題提出			
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など			毎回問題集の宿題提出			
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	ビジネス専門用語の理解			毎回問題集の宿題提出			
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	愛想、愛嬌、大きな声で接客ロープを行う			毎回問題集の宿題提出			
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	野菜の販売をアドリブを用いながら行う(準1級対策)			毎回問題集の宿題提出			
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎			毎回問題集の宿題提出			
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出			
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出			
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験			毎回問題集の宿題提出			
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、3級、合格のポイントを押さえる			毎回問題集の宿題提出			
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	検定の答え合わせ			毎回問題集の宿題提出			
第15回	サービス接遇検定2級要項を説明	準1級の要項を確認し、最終練習を行う			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	メイクアップ I		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上。JMA検定を学びながら、接客業の楽しさ、大変さを学びながら、即戦力となる人材の育成。							
授業の一般目標	JMAメイク検定2級取得。年代メイク、トレンドメイクの学習。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回～ 第4回	オリエンテーション	半期の流れ、JMAメイク検定対策。3級の復習				毎回問題集の宿題提出		
第5回～ 第8回	各パーツ眉目口のバランスと分析	メイクアイテム				毎回問題集の宿題提出		
第9回～ 第12回	アイブロウ	アイブロウ				毎回問題集の宿題提出		
第13回～ 第16回	アイシャドウ	アイブロウ応用 アイメイク基礎				毎回問題集の宿題提出		
第17回～ 第20回	アイライン マスカラ	アイブロウアイメイク応用アイラインマスカラ基礎				毎回問題集の宿題提出		
第21回～ 第24回	リップ チーク	目元応用 リップ チーク応用				毎回問題集の宿題提出		
第25回～ 第28回	2級筆記確認テスト	ナチュラルメイク				毎回問題集の宿題提出		
第29回～ 第32回	2級実技トータル	2級実技トータル				毎回問題集の宿題提出		
第33回～ 36回	キュートメイク	検定模擬試験				毎回問題集の宿題提出		
第37回～ 第40回	クールメイク	検定模擬試験				毎回問題集の宿題提出		
第41回～ 第44回	トレンドメイク	付けまつげポイントレッスン				毎回問題集の宿題提出		
第45回～ 第48回	カウンセリングメイク	カウンセリングメイク				毎回問題集の宿題提出		
第49回～ 第52回	年代別メイク	年代別メイク				毎回問題集の宿題提出		
第53回～第56 回	2級検定対策	2級検定対策				毎回問題集の宿題提出		
第57回～ 第60回	2級検定模擬	2級実技検定模擬				毎回問題集の宿題提出		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	イメージメイク		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業(講師のデモスト、学生が実技を行う) メイクカルテを活用し、理解力を深める 実技チェックテストを行い、テクニックの習得状況を確認し、実技を確実に習得する。							
授業の一般目標	メイク基礎で学んだ知識を活かし、技術を行う事でメイク表現の違いを知る。 メイクの楽しさを他者に伝えることのできるテクニック、表現方法を学ぶ。 様々なメイク表現を習得し、現場で活かせる技法を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 第2回	メイクテクニック技術確認	セッティング、スキンケア、ベース 技術チェック (JMA検定参照) 講師によるデモンストレーション			毎回問題集の宿題提出			
第3回 第4回	基本テクニック(ベース)	ベース基礎チェック① スキンケア、マッサージ、ベース、コンシーラー、FD、PW、モデリング			毎回問題集の宿題提出			
第5回 第6回	基本テクニック(アイメイク)	アイメイク基礎テクニック 3色グラデーション			毎回問題集の宿題提出			
第7回 第8回	基本テクニック(アイブロウ)	アイブロウ基礎テクニック アーチ、ストレート、ポイント			毎回問題集の宿題提出			
第9回 第10回	基本テクニック(リップ、チーク)	リップ、チーク基礎テクニック フルメイク仕上がりチェック			毎回問題集の宿題提出			
第11回 第12回	コスメカウンター見学	阪急百貨店梅田店のカウンター見学を実施 最新コレクションの研究 ブランド比較を行う			毎回問題集の宿題提出			
第13回 第14回	イメージメイク実践 キュート	キュートメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあった キュートメイクができる			毎回問題集の宿題提出			
第15回 第16回	イメージメイク実践 エレガント	エレガントメイクのテクニックを習得しモデルの骨格にあった キュートメイクができる			毎回問題集の宿題提出			
第17回 第18回	イメージメイク実践 ポーイッシュ、クール	ポーイッシュ、クールメイクのテクニックを習得しモデルの骨 格にあったキュートメイクができる			毎回問題集の宿題提出			
第19回 第20回	実技試験実施	イメージメイクの実践			毎回問題集の宿題提出			
第21回 第22回	資生堂について ベストマッチング理論(座学)	ベストマッチングに基づいた顔分析。曲線と直線のメイク、イ メージマトリクスからの識別を含めた座学			毎回問題集の宿題提出			
第23回 第24回	スキンケア理論 スキンケア~ベース(座学、実技)	スキンケアからのメイクを理論的に学ぶ 化粧品、化粧用具の種類や用途を再確認 スキンケアを含めたベースメイクの実技			毎回問題集の宿題提出			
第25回 第26回	ポイントメイクアップ	ベストマッチングテキストに基づいた曲線と直線の識別 アイブロウカットを含めた整え方 アイブロウの描き方			毎回問題集の宿題提出			
第27回 第28回	メイクアップフルメイク	メイクアップベーシックテキストに基づいたトータルメイクの 実技。イメージマトリクスの実践			毎回問題集の宿題提出			
第29回 第30回	メイクアップフルメイク 応用	メイクアップアドバンステキストに基づいた実技 パーティ、トレンド、スチール、撮影用等様々なメイク			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	メイクセラピー I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントの習得・テキストのまとめをしながら進める セラピーメイクの知識と技術を習得する							
授業の一般目標	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリングの基本を習得。 この授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。 これからの美容の発展に向け、より人の心に寄り添う美容・メイクを提供するための知識と技術を習得する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 第2回	メイクセラピーとは	メイクによる心への影響を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第3回 第4回	顔と心と化粧の関係	顔=心・化粧をする理由・思い込みP36～39			毎回問題集の宿題提出			
第5回 第6回	カウンセリングの必要性	メイクセラピーの要素・カウンセリング・ラポール・モチベーションP9～13			毎回問題集の宿題提出			
第7回 第8回	メイクセラピーの流れ	半顔メイク・メインカウンセリング・フルメイク・フォローカウンセリング・癖P14～19			毎回問題集の宿題提出			
第9回 第10回	カウンセリング概論	カウンセリングの起源・目的・役割・美容カウンセリングとの比較P22～27			毎回問題集の宿題提出			
第11回 第12回	メイクアップ基礎	皮膚理論と肌の整え方、ファンデーション技術			毎回問題集の宿題提出			
第13回 第14回	ポイントメイク基礎①	眉、アイメイクのプロポーションと描き方			毎回問題集の宿題提出			
第15回 第16回	ポイントメイク基礎②	チーク・リップと基礎メイク復習			毎回問題集の宿題提出			
第17回 第18回	色の効果と立体感	色のイメージを理解し、的確な色を選ぶ知識を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第19回 第20回	エイジレスメイク	より若々しく元気に見せるメイク			毎回問題集の宿題提出			
第21回 第22回	顔分析メイク	左右のパーツの違いを修正するメイク技術			毎回問題集の宿題提出			
第23回 第24回	敏感肌用メイク	敏感肌やアトピー性皮膚炎の方向けのメイク			毎回問題集の宿題提出			
第25回 第26回	カバーメイク	ニキビ、あざ、やけど跡、手術痕をカバーするメイク			毎回問題集の宿題提出			
第27回 第28回	模擬試験実施	文末の問題に挑戦し、検定試験の感覚をつかむ。自分の理解度の確認			毎回問題集の宿題提出			
第29回 第30回	模擬試験の解答、解説	模擬試験の解答、解説で弱点の克服			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ネイル I	単位数	10	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	アクリルベーシック①	アクリル概論について アクリルエクステンションの用具・用材のと使用目的について学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第2週	アクリルベーシック②	プレパレーション、ネイルフォーム装着、ファイリングについて学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第3週	基礎理論 スカルプチュア①	ネイルの歴史について アクリルスカルプチュア (ナチュラル) を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第4週	基礎理論② スカルプチュア	ネイルの技術体系について アクリルスカルプチュア (フレンチ) を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第5週	基礎理論 パーチャル	爪の構造と働き パーチャルを学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第6週	基礎理論 ネイルチップについて	緑膿菌感染について ネイルチップの基礎知識と仕込みを学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第7週	アクリルチップについて①	アクリルチップオーバーレイ (ナチュラル) ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第8週	アクリルチップについて②	アクリルチップオーバーレイ (ホワイト) ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第9週	リペア	リペア (フローター、フィルイン、バックフィル) について学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第10週	アクリルオフ①	アクリルネイルのオフを学ぶ (ファイルを使用)			毎回問題集の宿題提出			
第11週	アクリルオフ②	アクリルネイルのオフを学ぶ (ネイルマシーンを使用)			毎回問題集の宿題提出			
第12週	ネイル検定1級 合格のための (実践) ①	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第13週	ネイル検定1級 合格のための (実践) ②	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第14週	ネイル検定1級 合格のための (実践) ③	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第15週	模擬試験実施	模擬試験実施			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ネイル I	単位数	10	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	ジェルネイル基礎理論	ジェルネイル概論を学ぶ ジェルネイル材料の基礎理論を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第2週	ジェルネイル基礎理論 ネイルケア	ジェルネイル技術体系を学ぶ ネイルケア			毎回問題集の宿題提出			
第3週	ジェルネイル基礎理論 ポリッシュカラーリング	爪の構造と働き ポリッシュカラーリング			毎回問題集の宿題提出			
第4週	ジェルネイル基礎理論 ジェルカラーリング	ジェルネイルの用具・用材を学ぶ ジェルカラーリング			毎回問題集の宿題提出			
第5週	ジェルネイル基礎理論 ジェルカラーリング	ジェル用具の衛生管理 ジェルカラーリングの行程を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第6週	ジェルネイル基礎理論 ジェルカラーリング	爪の病気 ジェルカラーリングができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第7週	ジェルネイル基礎理論 ジェルカラーリング	ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止方法を学ぶ ジェルカラーリングの弱点を克服する			毎回問題集の宿題提出			
第8週	ジェルネイル基礎理論	ジェルネイルの施術で生じやすいトラブルの要因と対策方法を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第9週	ジェルネイル検定初級の概要	ジェルネイル検定 初級の試験要項の確認			毎回問題集の宿題提出			
第10週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	時間内にすべての項目の施術ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第11週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第12週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第13週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第14週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	模擬試験実施 ①			毎回問題集の宿題提出			
第15週	ジェルネイル検定初級 合格のための (実践)	模擬試験実施 ②			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ネイル I		単位数	10	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	検定2級 (ネイルケア・カラー・チップラップ・検定アート) アクリルベーシック (アクリル概論・スカルプ・チップオーバーレイ・3Dアート) ジェルベーシック1 (ジェル概論・プレパレーション・フローター・オフ・ジェルアート基礎)							
授業の一般目標	JNECネイリスト技能検定試験2級取得 JNECネイリスト技能検定試験1級受験準備 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	試験要項の確認 ネイル基礎概論	ネイル検定2級試験要項の確認 ネイルの歴史、衛生と消毒、爪の構造			毎回問題集の宿題提出			
第2週	ネイル基礎概論 ネイルケア	ネイルケアの手順 ネイルケアの復習			毎回問題集の宿題提出			
第3週	ネイル基礎概論 ファイリング	爪の構造、爪の病気とトラブル ファイリング (ラウンド) ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第4週	ネイル基礎概論 リペア	リペアの種類及びチップ&ラップの手順 ナチュラルネイルのリペア グルーオンテクニックができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第5週	ラップテクニック	ラップテクニック グルー&フィラーの行程を実践			毎回問題集の宿題提出			
第6週	ラップテクニック	ラップテクニック グルー&フィラー行程ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第7週	ラップテクニック	ラップテクニック レジンの行程を実践			毎回問題集の宿題提出			
第8週	ラップテクニック	ラップテクニック レジンができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第9週	ネイル基礎概論 カラーリング	その他実践的施術全般 カラーリング復習 弱点の発見			毎回問題集の宿題提出			
第10週	ネイル基礎概論 カラーリング	プロフェッショナルリズム カラーリング復習 弱点を克服する			毎回問題集の宿題提出			
第11週	ネイルアート	ネイルアート 花 (リーフ型の花びら) の描き方を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第12週	ネイルアート	ネイルアート 花 (リーフ型の花びら) が描けるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第13週	ネイル検定2級試験項目 実践	時間内にすべての項目の施術ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第14週	ネイル検定2級試験項目 実践	弱点の発見、技術レベルの確認			毎回問題集の宿題提出			
第15週	ネイル検定2級試験項目 実践	検定試験前の最終確認 弱点の克服			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	解剖生理学 I		単位数	2	科目コード	
授業形態	講義実習		対象学生	1年	開設期	半期
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用					
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> <li>INFA国際ライセンス国内卒業筆記試験合格</li> </ul>					
受講条件	出席率80%以上が前提となる					
事前学習について (テキスト・参考書等)						
授業の到達目標						
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる					
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる					
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。					
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。					
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点						
授業計画(全体)						
基本的な知識を修得し応用に発展する。						
授業計画(授業単位)						
回	主 題	授 業 内 容				備 考
第1週	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト INFA筆記試験を合格するための学習のポイント、学習の進め方の確認				
第2週	細胞 1	細胞の構造について学ぶ(各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ)				
第3週	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する				
第4週	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ				
第5週	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する				
第6週	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ				
第7週	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮、について学ぶ				
第8週	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ(汗腺・皮脂腺・毛・爪)				
第9週	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方				
第10週	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器官、咽喉と食道				
第11週	消化器 2	消化器官について学ぶ(胃・小腸・大腸) 胃潰瘍、便秘について				
第12週	消化器 3	消化器官について学ぶ(肝臓・すい臓)				
第13週	栄養学	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				
第14週	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて				
第15週	循環器 1	循環器について学ぶ(血液の循環経路・心臓の働き) 心臓疾患について				
第16週	循環器 2	血液成分とその役割 ・各血管の特徴				
第17週	循環器 3	リンパについて学ぶ(リンパとは何か・リンパの循環経路)				
第18週	排泄器	排泄器について学ぶ(腎臓の働き) 腎臓疾患について				
第19週	神経系 1	神経系を学ぶ(概論・神経系の分類)				
第20週	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路(うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み)				
第21週	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き(自律神経失調症発症の原因)				
第22週	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ(ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの)				
第23週	内分泌系 2	主な内分泌腺とホルモンの働き(刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン)				
第24週	内分泌系 3	性腺と性ホルモン(更年期障害について その対処法)				
第25週	総合確認テスト	各章の確認テスト実施				
第26週	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習				
第27週	口頭試問対策	お客様の悩みを解消するアドバイスを考える (お客様が納得して実施しようと思えるアドバイスを考える)				
第28週	口頭試問対策	お客様へのアドバイス発表 みんなの前で発表をし納得して理解できるかを確認する				
第29週	口頭試問対策	アドバイス発表で得た改善点を活用しアドバイスの改善をする				
第30週	口頭試問対策	期末試験実施				
成績評価方法						
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他
定期試験	◎	○				50
小テスト	◎	○	◎			30
宿題授業外レポート		◎	○	◎		10
授業態度			○			10
発表・作品						評価なし
演習						評価なし
出席			○			欠格条件
担当教員	荒木		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>		

科目名	エステ(ボディ)	単位数	8	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業。 学習プリントで技術の習得状況、未習得状況を自己管理する。 適宜チェックテストを実施し、テクニックを確実にする							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの効果・テクニックを習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃を習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける</li> <li>・INFA国際ライセンス ボディパスポート国内卒業試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	導入 確認テスト	実習室使用方法、清掃方法の確認。 コース内のルールを決定。 下肢背面確認テストの実施。						
第2週	ヒップマッサージの習得 ヒップアップの手法を習得 立体的なヒップメイキングの手法を習得	ヒップ軽擦、ヒップバイブレーション 3点プッシュ、ヒップタッピング、切打、拍打						
第3週	背中のマッサージの習得 背中の痛みを和らげる手法 背中の血行促進の手法	背中軽擦、8点プッシュ、のこぎり、6点圧						
第4週	背面のマッサージのクオリティを上げる① (下肢背面、ヒップ、背中)	下肢背面、ヒップ、背中のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う						
第5週	背面のマッサージのクオリティを上げる② (下肢背面、ヒップ、背中)	苦手箇所、修正箇所の確認。 背面マッサージを完璧に施術できるようになる						
第6週	美脚マッサージを習得する むくみの解消 立体的なふくらはぎをつくる セルライトを解消する	下肢前面軽擦、足の指先マッサージ ベトリサージュ、切打、拍打 さすりあげ、9点プッシュ						
第7週	理想的なウエスト作りの手法を習得 細いウエストを作る 便秘解消マッサージ	腹部軽擦、ふなごぎ、ベトリサージュ 三角形のマッサージ、大腸マッサージ						
第8週	前面のマッサージのクオリティを上げる① (下肢前面、腹部)	下肢前面、腹部のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う						
第9週	前面のマッサージのクオリティを上げる② (下肢前面、腹部)	苦手箇所、修正箇所の確認。 前面マッサージを完璧に施術できるようになる						
第10週	・気になる二の腕を細くするマッサージの習得 細い指先をつくる 細い二の腕をつくる ・フットケア、 ・w a x	上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、 脇のリンパを流す フットケア、ネイルケア、 水溶性w a x						
第11週	肩から首のマッサージを習得する 肩こりの解消 顔のむくみの解消 ・ペディキュア	頸部マッサージ ペディキュア						
第12週	理想的なバスト形成のマッサージを習得する バストアップ、胸の谷間の臍とりの手法 バストボリュームアップ、形状記憶の手法	バスト軽擦、3点のつぼ、リサージュ、エフルラージュ エバンターユ、輪上軽擦、バイブレーション						
第13週	美しいバストをメイキングする	バストマッサージの復習 バストパック、O D T						
第14週	I N F A試験項目の復習 ①	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる						
第15週	I N F A試験項目の復習 ②	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	プロップアート		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	具体的な観察方法及び必要な概念を学び、表現の基本を修得する。							
授業の一般目標	プロップアートは美術において大切な基礎であり、製作者の思考及び思想に通じる。将来ビューティ業界に携わる人間として、単に対象物をどのように立体表現するかにとどまらず、観察力の向上、美の発見、その体質に迫る力を養う事を目的とする							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リエンション	授業の進行方法及びデッサンを始める前準備。 必要道具などの確認また使用方法。記憶に頼り身近なものを描いてみる。				基本道具(鉛筆 スケッチブック 定規 )カッター 鏡		
第2回	デッサンの基本を知る	各鉛筆の明暗の塗り分け。身近なものを描いてみる。				基本道具 ビクチャーブレーション		
第3回	形をとる	正確に形を捉える基本事項。正確に形を捉えるためにビクチャーブレーションを用いて描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第4回	形をとる	正確に形を捉える基本事項。正確に形を捉えるためにビクチャーブレーションを用いて描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第5回	立体感を出す	クロッキー (モチーフ 手) 光と影の意識して描く。(モチーフ 透明グラス)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第6回	立体感を出す	光と影の意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第7回	質感の表現 1	クロッキー (モチーフ 人物) モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第8回	質感の表現 1	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第9回	クロッキー (課題テスト)	短時間で形を捉えて描く。ポーズを変えて20分 10分 5分 3分 (モチーフ 手)				基本道具 ビクチャーブレーション		
第10回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒ペン		
第11回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒ペン 色ペン		
第12回	オリジナルパターンをつくる	アートパターンをつくる。下描きなしで間違った線も生かして一気に描き上げる。				基本道具 黒筆ペン		
第13回	質感の表現 2	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション ケント紙		
第14回	質感の表現 2	モチーフの色と質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション ケント紙		
第15回	デッサン(課題テスト)	モチーフの構図、形、色、質感を意識して描く。(モチーフ 静物)				基本道具 ビクチャーブレーション ケント紙		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	サービス接遇特論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	接客サービス業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める							
授業の一般目標	接客サービス業界で働く楽しさを感じ取り、それをサポートする接客力を習得する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	サービス接遇検定とは？	オリエンテーションと検定要項の確認				毎回問題集から宿題		
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級振り返り				毎回問題集から宿題		
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣い				毎回問題集から宿題		
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法				毎回問題集から宿題		
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など				毎回問題集から宿題		
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題		
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題		
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題		
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎				毎回問題集から宿題		
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題		
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題		
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題		
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				毎回問題集から宿題		
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	準1級ロープレ実技						
第15回	期末試験	筆記						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	キャリアデザイン	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期				
区分	選択	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動の為の、キャリアガイダンス 1.自己分析 2.プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける 3.仕事を知る							
授業の一般目標	1.自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2.希望する企業にしっかり想いが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3.社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	就職活動の流れ NAV Iノート説明 模擬ワークガイダンス	就職活動の流れ→漢字→グループを決める→移動 →1分間スピーチ「自己紹介」 →模擬ワークガイダンス 1人で考える→みんなの意見を合わせる						
第2回	自己分析Ⅰ NAV Iノート 「過去の振り返り」	漢字→1分間スピーチ「私が一番大切にしているもの(事)」 グループワーク(NAV Iノート自己分析Ⅰ) 過去の振り返りより「高校までの私」をグループ内で発表しあう						
第3回	自己分析Ⅱ「長所と短所」 他人から見た自分 「いいとこさがし」	漢字→ワーク「長所と短所」 1分間スピーチ「私の長所と短所」 他人から見た自分→グループワーク「いいとこさがし」						
第4回	自己分析Ⅲ 「ジョハリの窓」	漢字→1分間スピーチ「今までで一番頑張った事」 グループワーク「ジョハリの窓」 私の「心の四つの窓」をグループ内で発表し合う						
第5回	グループワーク	漢字→1分間スピーチ「学生の間に身につけたい習慣」 「夢をかなえるゾウ」をテーマにグループワーク代表が発表						
第6回	グループワーク	漢字→1分間スピーチ「私のお気に入りのスタッフさん」 グループワーク「ディズニーのおもてなし」グループ内で発表し合う						
第7回	サロン様 講話	現場の方のお話						
第8回	プレゼンテーションⅠ	プレゼンテーションの説明→各グループで作業						
第9回	プレゼンテーションⅡ	各グループで作業						
第10回	プレゼンテーションⅢ	各グループで作業→発表会→グループで最終仕上げ						
第11回	プレゼンテーションⅣ	発表会 校長先生 総評						
第12回	サロン訪問の仕方・マナー (電話のかけ方、挨拶等)	漢字→ワーク→1分間スピーチ「将来の夢」 電話のかけ方、サロン訪問のマナー						
第13回	サロン様 講話	現場の方のお話						
第14回	履歴書の書き方 自己PR エントリーシート	漢字→ワーク→1分間スピーチ「自己PR」						
第15回	模擬面接	面接の流れ説明→模擬面接						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ビジネス文書力		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義形式・グループワーク・調べ学習・発表を授業で取り入れる</li> <li>・ 必要に応じて視聴覚教材使用</li> <li>・ 美しい字を書く事を授業内で実施</li> <li>・ 適宜課題提出</li> </ul>							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的に美しい字を書けるようになる</li> <li>・ ビジネスで必要とされる漢字が書けるようになる</li> <li>・ ビジネスで必要とされる文章が書けるようになる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	学習内容を理解して最終目標を立てる 学習の仕方を知り活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバスを基に学習内容を理解して自己を振り返り得手不得手を知る</li> <li>・ シラバスを基に学習到達目標を理解して自己目標を立てる</li> </ul>						
第2回	TPOに合わせた言葉選び	桃尻語訳を参考に言葉選びの重要性を知り、自身に起こった出来事を文章にする						
第3回	言葉の正しい使い方	TPOに合わせた言葉の使い方を知り活用できるようになる						
第4回	文章の創造を楽しむ	キーワードの文節を基に、自身で文章を作成するポイントを活用できるようになる						
第5回	文章を読み取る事を楽しむ	文章の行間を読む楽しさを感じる事ができる						
第6回	要約をする-1	限られた文字数で要約をして、相手に伝わる文章を作成するポイントを活用できるようになる						
第7回	要約をする-2	要約のポイントを活用して印象に残った本・記事・作品などを要約して発表する						
第8回	改まった手紙を書く	時候の挨拶・前文・末文を使用して手紙を書く						
第9回	社外文書の書き方と ルールを知る	社外文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる						
第10回	社内文書の書き方と ルールを知る	社内文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる						
第11回	電子媒体のビジネス文書 ファックスの送信	電子媒体のビジネス文書のルールとマナーを活用することができる ファックスを送信するときのルールを知り、実際に活用する事ができる						
第12回	郵便物のルール	郵便物のルールを知り活用することができる						
第13回	お礼状を作成する-1	学習した知識を活用してお礼状を実際に作成して郵送する スチューデントサロン・就職活動用						
第14回	お礼状を作成する-2	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-1						
第15回	お礼状を作成する-3	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-2						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	論理的思考力基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	日常生活に関する題材を取り上げ、現状認識、問題発見をつかさどる把握力、定量分析、定性分析に発展させる分析力、意思決定、情報を研ぎ澄ませる選択力、シミュレーション能力を磨くための予測力、プレゼンテーション能力を発揮できる表現力の基礎を学ぶ。							
授業の一般目標	身近な問題を解くことを通して、読解力・把握力・分析力・選択力・予測力・表現力を養う。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点								
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点								
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点								
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション・数学基礎学力テスト	授業の進め方・評価の方法について 学基礎力試験(数学検定試験)				数		
第2回	速さの基礎	速さの定義・秒速・分速・時速・速さと距離時間の関係の復習。速さを求める。						
第3回	旅人算・流水算	動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する問題を解く。						
第4回	割合の基礎	単位の換算・百分率と歩合・濃度の計算(重量パーセントからモル濃度)						
第5回	損益算	売買による損益に関する計算。原価(仕入れ値)・定価・売価(売り値)・利益の間の関係、特に利益率・値引率の割合の意味を理解し問題を解く。						
第6回	仕事算	単位数や単位時間にできる仕事の量や仕上げるのにかかる日数や時間を求める。						
第7回	計算の基礎・虫食い算	四則計算・四則混合計算・Xを使う式・連立方程式を解く						
第8回	順列・確立	順列・確立の基本的な考え方と保険・銀行の融資(ゆうし)・株式市場の分散投資について学ぶ						
第9回	集合	集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について学ぶ。						
第10回	推理	リーグ戦の勝敗・対応関係・うそつき問題を解く						
第11回	面積・体積	平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積・錐体の体積を求める						
第12回	展開図	直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める						
第13回	把握力と分析力	業界シェの動向・所得税を求める						
第14回	選択力と予測力	最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める。						
第15回	表現力	売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムは						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	公衆衛生	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	公衆衛生制度の発展の系譜、わが国の公衆衛生のあゆみ、公衆衛生の各領域の仕組み、現状、課題について学び、健康日本21、特定健診・保健指導などが実施されることになったことの意義などについて学ぶ。また、美容業務上で必要不可欠な衛生知識を習得する。							
授業の一般目標	人間の美と健康に関わる職業人としてプロとして公衆衛生に係る知識を習得し、衛生管理についての知識・技術理論を習得する。また顧客との良好な人間関係を築く上で必要な公衆衛生関係の社会常識、特に最新の情勢についての知識を習得する。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題を考察する。						
第2回	公衆衛生発展の歴史	欧米の公衆衛生の歩み、日本の公衆衛生の歩み・公衆衛生発展の歴史について学ぶ。						
第3回	公衆衛生の概要具体的な課題と領域	出生率・死亡率・乳児死亡率の低下・平均寿命の推移を統計資料に基づいて学び、今後の課題について考察する。						
第4回	保健所の役割について	公衆衛生の第一線機関としての保健所の機能と事業について学ぶ。						
第5回	予防医学と保健	予防医学・疫学的重要性と予防医学の推進について学ぶ。						
第6回	世代と保健	母子保健保険・成人・高齢者保健について学ぶ						
第7回	精神と保健	精神保健について学ぶ						
第8回	栄養と保健	栄養と食物について学ぶ						
第9回	医療介護の制度	医療制度・医療保険制度・介護保険制度について学ぶ						
第10回	環境衛生の概要	環境衛生の内容・目的・意義・環境衛生活動を学ぶ。						
第11回	自然環境要因について	空気・水・日光の3要素と人との関わりについて学ぶ。衣食住の要因と健康のかかりについて学ぶ。						
第12回	公害と環境保全について	大気汚染・水質汚濁・その他について学ぶ						
第13回	サロンの環境衛生について	サロンにおける衛生管理・衛生的取り扱いについて学ぶ						
第14回	感染症の知識	感染症の法律上の分類方法などから、感染症の体系を学ぶ。						
第15回	感染症の概要	微生物の病原性と人体の感受性の総合関係と、汚染、感染、発病の経過を学ぶ。また、免疫の仕組み、予防接種効果や地域社会における感染症の発生の要素と対策について学ぶ。						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	化粧品化学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	化粧品(化粧品)は、人の皮膚の保健・衛生および美容・美化を目的として用いられるものである。人間の美と健康に関わる職業人として、化粧品の科学的基礎知識を学ぶ。また顧客との良好な人間関係を築く上で必要な化粧品の最新の情勢についての知識を習得する。							
授業の一般目標	人の人体の成分に化学変化を与える化粧品の基本知識の習得とその危険性について認識する。化粧品化学の知識・理解を深めビューティの専門家としての道を拓く。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	化学	化学・物理の基礎概念の 復習						
第2回	化粧品概論	化粧品概論について学ぶ						
第3回	化粧品用原料	水性原料(水・エタノール) 油性原料(油脂・ロウ類)について学ぶ						
第4回		界面活性剤と高分子化合物について学ぶ						
第5回		色材の種類・香料の種類について学ぶ						
第6回		その他の配合成分(防腐剤・殺菌剤・酸化防止剤・保湿剤・紫外線吸収剤・収斂剤など)について学ぶ						
第7回	基礎化粧品	皮膚清浄用化粧品について学ぶ						
第8回		化粧水、クリーム・乳液、その他の基礎化粧品について学ぶ						
第9回	メイクアップ用化粧品	メイクアップ用化粧品について学ぶ						
第10回	頭皮・毛髪用化粧品	皮膚や毛髪の性状、シャンプー剤について学ぶ						
第11回		スタイリング剤について学ぶ						
第12回		パーマントウェーブ用剤について学ぶ						
第13回		染毛剤・育毛剤について学ぶ						
第14回	その他の化粧品	芳香製品、特殊化粧品について学ぶ						
第15回	化粧品の取扱い	化粧品の安定性と取扱い、安全性と取扱いについて学ぶ						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	着付け	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	着付を通して、和の心に親しみ、'正しい姿勢とご挨拶' '美しい所作を生む和服の着こなし' 'たおやかな立ち居振る舞いと心得' 大人の女性として恥ずかしくない礼儀や作法を身につける。又 着物の取り扱いについても学ぶ							
授業の一般目標	日本伝統衣装とふれあい、正しい姿勢や所作、着物の取り扱いを学びながら、着付け技術の基本ができるようになる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	浴衣の着付 着物のたたみ方	・肌着、裾除けの着付 ・浴衣の着付・帯結び(蝶々結び) ・着物のたたみ方						
第2週	小紋着付	・補整の仕方 ・長襦袢の着付 ・小紋の着付 ・長襦袢と着物のたたみ方						
第3週	留袖着付	・留袖技術の習得、基礎						
第4週	留袖着付 二重太鼓	・留袖技術の習得、基礎 ・二重太鼓						
第5週	振袖着付	・振袖技術の習得、基礎						
第6週	振袖着付 変わり結び(かがやき)	・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び(かがやき)						
第7週	振袖着付 変わり結び(かがやき)	・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び(かがやき)						
第8週	振袖着付 変わり結び(かがやき)	・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び(かがやき)						
第9週	振り袖着付(ふくら雀)	・振袖技術の習得、基礎 ・変わり結び(ふくら雀)						
第10週	振り袖着付(ふくら雀)	・振袖着付 ・変わり結び(ふくら雀)						
第11週	振り袖着付(ふくら雀)	・振袖着付 ・変わり結び(ふくら雀)						
第12週	振り袖着付(ふくら雀)実技試験練習	・振袖着付 ・変わり結び(ふくら雀)						
第13週	振り袖着付(ふくら雀)実技試験練習	・振袖着付 ・変わり結び(ふくら雀)						
第14週	着付試験	・振袖着付 ・変わり結び(ふくら雀)						
第15週	袴着付	・女袴着付						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	ビジネスと仕事の実践		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容をビジネスの観点から見ていく。サロン経営、店舗運営に直結する内容を講義するとともに、最新の美容業界の動きもつねにチェックする。							
授業の一般目標	美容業界は今後ますます競争が激化していく状況の中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識がどうしても必要となる。将来サロンを持つときに、あるいは店長となって店舗を管理する立場になったときに必要となる経営・マネジメントの基礎を学ぶ。しかし、この経営・マネジメントの知識は決して経営者や店長となつてはじめて必要となるものではなく、実はサロンに就職したときからすでに必要となってくるものである。競争が激しいビューティ業界においては、経営・マネジメントの視点を持つことも必要であり、今のうちからしっかりとビジネス感覚を身につけた人材を育成する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	オリエンテーション	授業の進め方と心構えについて						
第2回	美容業の現状について	現在の美容業はどのような状況なのか						
第3回	経営とは何か？	経営・マネジメントの視点がなぜ必要か						
第4回	労務管理 1	労務管理						
第5回	労務管理 2	社会保障制度労務管理に関する知識						
第6回	経営管理 1	企業の形態 美容業界と料金						
第7回	経営管理 2	経理 簿記と税務						
第8回	マーケティング 1	なぜマーケティングを学ぶのか マーケティングの基本的な考え方						
第9回	マーケティング 2	マーケティング戦略 競争とポジショニング						
第10回	マーケティング 3	美容業のためのマーケティング 戦略の立て方						
第11回	顧客満足経営	顧客満足経営とはどのような経営なのか 売上志向から顧客志向へ						
第12回	サロン起業 1	サロンの起業とはどのようなものか サロンの起業には何が必要か						
第13回	サロン起業 2	繁盛店を考えてみよう 1						
第14回	サロン起業 3	繁盛店を考えてみよう 2						
第15回	サロン起業 4	今後の美容業界はどうなっていくのか						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	メイクアップⅡ		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた、「聴く」「観る」「実際に行う」の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を習得できるプログラム							
授業の一般目標	イメージメイクとカウンセリングトークを深く理解し、1級検定に必要な応用メイクができるようにする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回～ 第4回	オリエンテーション	1級検定内容について・カウンセリング法とアドバイス法				毎回問題集の宿題提出		
第5回～ 第8回	キュートメイク基礎	キュートメイク理論 カウンセリングメイク				毎回問題集の宿題提出		
第9回～ 第12回	キュートメイク応用	キュートメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第13回～ 第16回	エレガント基礎	エレガントメイク理論 カウンセリングメイク				毎回問題集の宿題提出		
第17回～ 第20回	エレガント応用	エレガントメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第21回～ 第24回	ボーイッシュ基礎	ボーイッシュメイク理論 カウンセリングメイク				毎回問題集の宿題提出		
第25回～ 第28回	ボーイッシュ応用	ボーイッシュメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第29回～ 第32回	クール基礎	クールメイク理論 カウンセリングメイク				毎回問題集の宿題提出		
第33回～ 36回	クール応用	クールメイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第37回～ 第40回	顔分析 開軸メイク	開軸メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第41回～ 第44回	顔分析 閉軸メイク	閉軸メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第45回～ 第48回	顔分析 上昇メイク	上昇メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第49回～ 第52回	顔分析 下降メイク	下降メイクを利用した似合わせメイクとアドバイスメイク				毎回問題集の宿題提出		
第53回～第56 回	タイムアタック	一級検定と同様に75分間の流れを行う				毎回問題集の宿題提出		
第57回～ 第60回	模擬試験	一級検定と同様に似合わせイメージメイク75分間の流れを行う				毎回問題集の宿題提出		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木		実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	撮影メイク	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期	1年前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、講師デモンストレーション、相モデルを取り入れた、「聴く」「観る」「実際に行う」の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を習得できるプログラム ヘアメイク選手権にエントリーする作品作り行う							
授業の一般目標	これまで学んできたメイクテクニックを活かし、パリコレ&メイクアップアーティストオーディションにエントリーする作品作り行う							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 第2回	顔分析 メイク ①	横 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第3回 第4回	顔分析 メイク ②	縦 内心 外心 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第5回 第6回	顔分析 メイク ③	上方 下方 を意識し顔分析を行い メイクが出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第7回 第8回	顔分析 メイク まとめ	顔分析によるメイクの実践			毎回問題集の宿題提出			
第9回 第10回	モードメイク アイカラー ①	アイカラーの中抜きテクニックを実践する事が出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第11回 第12回	モードメイク アイカラー ②	アイカラーの目頭抜きテクニックを実践する事が出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第13回 第14回	モードメイク アイカラー ③	アイカラーのシャープテクニックを実践する事が出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第15回 第16回	モードメイク アイカラー ④	アイカラーのラウンドテクニックを実践する事が出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第17回 第18回	モードメイク アイライン ①	アイラインのスリムラインとオープンアイのテクニックを実践することが出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第19回 第20回	モードメイク アイライン ②	アイラインのキャッツアイとアーモンドアイのテクニックを実践することが出来るようになる			毎回問題集の宿題提出			
第21回 第22回	ヘアメイク選手権応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践			毎回問題集の宿題提出			
第23回 第24回	ヘアメイク選手権応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践			毎回問題集の宿題提出			
第25回 第26回	ヘアメイク選手権応募用作品作り	イメージ収集、チェック、メイク実践			毎回問題集の宿題提出			
第27回 第28回	ヘアメイク選手権応募用作品作り	最終確認			毎回問題集の宿題提出			
第29回 第30回	撮影(ヘアメイク選手権応募用)	メイクアップアドバンステキストに基づいた実技 パーティ、トレンド、スチール、撮影用等様々なメイク			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	コスメティック販売実習		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	百貨店研修・メーカー研修での学習内容をいち早く習得し、即戦力となる人材育成、ビューティーのプロを育てます。							
授業の一般目標	店頭での電話対応マナー、カウンター業務の習得。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回 第2回	オリエンテーション ビューティアドバイザーに求められる条件	自己紹介 授業内容確認 身だしなみ 就活の流れ				毎回問題集の宿題提出		
第3回 第4回	アプローチ～接客までの流れ	購買心理/「褒める」「ネガティブ」コミュニケーション /ハンドアウト 金銭授受/お見送り				毎回問題集の宿題提出		
第5回 第6回	電話対応(かける・受ける) クレーム対応について	電話対応のマナー/クレームの種類と対応/レジ計算問題				毎回問題集の宿題提出		
第7回 第8回	ニーズの把握(スキンケア) 表皮について(角質層～基底層)	ニーズの把握を知る 皮膚知識 トーク				毎回問題集の宿題提出		
第9回 第10回	ニーズの把握(スキンケア) 表皮について(角質層～基底層)	提案の流れを知る 皮膚知識 トーク				毎回問題集の宿題提出		
第11回 第12回	メイクカウンセリング	肌悩みをカウンセリングし、似合うベースメイクの提案 メイク実習あり				毎回問題集の宿題提出		
第13回 第14回	紫外線について シミのメカニズム 各ブランドの美白ライン研究	紫外線知識・シミ 美白アイテムの研究				毎回問題集の宿題提出		
第15回 第16回	小テスト	表皮・真皮の構造 紫外線・しみのメカニズム				毎回問題集の宿題提出		
第17回 第18回	季節と肌 お気に入りコスメプレゼン	四季による環境の変化と肌へのダメージが説明できる お気に入りのコスメをプレゼン				毎回問題集の宿題提出		
第19回 第20回	乾燥について	乾燥の原因と対策を説明できるようになる				毎回問題集の宿題提出		
第21回 第22回	アンチエイジングについて	アンチエイジングの原因と対策を説明できるようになる 各ブランドのアンチエイジングライン				毎回問題集の宿題提出		
第23回 第24回	にきび・肌あれについて 販売計画	にきびの原因と対策を説明できるようになる 販売計画目標の作成				毎回問題集の宿題提出		
第25回 第26回	ミネラルコスメを用いてのメイクアドバイス	ミネラルコスメを用いて、スキンケアカウンセリング～ タッチアップ～クロージングまで実施				毎回問題集の宿題提出		
第27回 第28回	百貨店見学	百貨店見学 各メーカーでタッチアップを受けレポート作成				毎回問題集の宿題提出		
第29回 第30回	期末試験対策	お客様の悩みに対応できる知識と接客技術を習得				毎回問題集の宿題提出		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	メイクセラピーⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
授業の一般目標	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。 クライアントの印象管理のためのメイク技術を習得。 授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 第2回	オリエンテーション	メイクセラピー検定について			毎回問題集の宿題提出			
第3回 第4回	メイクセラピーとは	メイクセラピーの流れ・事例 デモンストレーション			毎回問題集の宿題提出			
第5回 第6回	化粧心理学	自己意識・化粧の効用・美の影響・表情と印象			毎回問題集の宿題提出			
第7回 第8回	メイクセラピー的心理学	非言語メッセージの大切さ・面接・接客での所作			毎回問題集の宿題提出			
第9回 第10回	印象分析(パーツバランス)	自分の魅力分析・求められる印象分析とその表現方法			毎回問題集の宿題提出			
第11回 第12回	メイク理論	メイク理論を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第13回 第14回	メイク理論	メイク理論を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第15回 第16回	色彩学 色彩心理学 パーソナルカラー概論	色がもたらすイメージとパーソナルカラー			毎回問題集の宿題提出			
第17回 第18回	メイク実習	メイク実習で効果的なメイクセラピーを学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第19回 第20回	メイク①優しそう・かわいい	イメージ別メイクの習得			毎回問題集の宿題提出			
第21回 第22回	メイク③癒される・親しみやすい	イメージ別メイクの習得			毎回問題集の宿題提出			
第23回 第24回	カウンセリング概論	自分自身のメイク・服装・身だしなみについての注意点			毎回問題集の宿題提出			
第25回 第26回	筆記試験 論述練習問題	マナー、印象管理、持ち物等			毎回問題集の宿題提出			
第27回 第28回	検定試験最終注意事項伝達	実技試験対策 模擬テストおよび解説 メイク実習			毎回問題集の宿題提出			
第29回 第30回	検定試験最終注意事項伝達	実技試験対策 模擬テストおよび解説 メイク実習			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木		実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	メイクセラピーⅢ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
授業の一般目標	接客時、クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。 クライアントの印象管理のためのメイク技術を習得。 授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接客に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接客について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 第2回	好感度アップに欠かせない基本態度	授業中など、人と接する時の基本態度			毎回問題集の宿題提出			
第3回 第4回	化粧品心理学①	化粧の歴史・承認欲求と自己承認			毎回問題集の宿題提出			
第5回 第6回	カウンセリング概論	カウンセリングに必要な心理テクニック			毎回問題集の宿題提出			
第7回 第8回	印象分析①	パーツバランス・錯視効果			毎回問題集の宿題提出			
第9回 第10回	印象分析③	対人認知			毎回問題集の宿題提出			
第11回 第12回	メイクセラピーの心理学①	シャドー・ペルソナ・非指示的カウンセリング・論理療法			毎回問題集の宿題提出			
第13回 第14回	洗剤とした印象を与える話し方	腹式呼吸・口の開け方・メリハリのつけ方			毎回問題集の宿題提出			
第15回 第16回	検定筆記試験論述問題対策	論述問題の解答のコツ・過去問題説明			毎回問題集の宿題提出			
第17回 第18回	間違えやすい日本語・敬語・クッション言葉・相槌	正しい言葉づかい・接客で通用する話し方			毎回問題集の宿題提出			
第19回 第20回	メイク②落ち着いている・知的	イメージ別メイクの習得			毎回問題集の宿題提出			
第21回 第22回	メイク④元気で明るい・エネルギッシュ	イメージ別メイクの習得			毎回問題集の宿題提出			
第23回 第24回	コミュニケーション実習 自発性・リーダーシップ	組織に入った時に必要な心構え			毎回問題集の宿題提出			
第25回 第26回	コミュニケーター実習 傾聴トレーニング	信頼関係を気づく傾聴テクニックの総仕上げ			毎回問題集の宿題提出			
第27回 第28回	メイク過去問題②	過去に出されたメイクテーマで模擬試験			毎回問題集の宿題提出			
第29回 第30回	1級検定実技最終注意	実技試験での注意事項を最終伝達			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ネイルⅡ	単位数	10	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	JNAジェル検定中級検定取得 JNECネイリスト技能試験1・2級取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック・アドバンス) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	1年生授業の復習 授業概要の確認	各受験級の苦手克服・授業概要			毎回問題集の宿題提出			
第2週	アクリルチップの復習	アクリルチップオーバーレイ(ナチュラル)ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第3週	アクリルチップの復習	アクリルチップオーバーレイ(ホワイト)ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第4週	アクリルチップの復習	リペア(フローター、フィルイン、バックフィル)について学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第5週	アクリルネイルオフの復習	アクリルネイルのオフを学ぶ(ファイルを使用)			毎回問題集の宿題提出			
第6週	アクリルネイルオフの復習	アクリルネイルのオフを学ぶ(ネイルマシーンを使用)			毎回問題集の宿題提出			
第7週	ジェルネイル検定 中級について	試験要項の確認 試験内容手順を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第8週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践①	ジェルオフ(ファイル)の復習、弱点を発見、克服する			毎回問題集の宿題提出			
第9週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践②	ジェルグラデーションの概要 ジェルグラデーションの手順を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第10週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践①	ジェルフレンチカラーリングの概要、手順を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第11週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践③	時間内にすべての試験項目ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第12週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践①	前回授業の反省点を修正できる			毎回問題集の宿題提出			
第13週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践④	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践			毎回問題集の宿題提出			
第14週	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践⑤	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践			毎回問題集の宿題提出			
第15週	模擬試験実施	模擬試験実施			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ネイルⅡ	単位数	10	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル総合(アクリル・ジェルネイル・ケアカラー・ネイルアート・フットケア) ネイル資格・試験の対策							
授業の一般目標	JNAジェル検定中級検定取得 JNECネイリスト技能試験1・2級取得 ジェルメーカーディプロマ取得(スウィートサンシャインベーシック・アドバンス) 就職に活用できる、知識・資格の勉強を通じ、職業意識を高める							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	1年生授業の復習 授業概要の確認	各受験級の苦学克服・授業概要			毎回問題集の宿題提出			
第2週	ジェルクリアスカルプチュア	ジェルクリアスカルプチュアの弱点を発見する			毎回問題集の宿題提出			
第3週	ジェルクリアスカルプチュア	ジェルクリアスカルプチュアの弱点を克服する			毎回問題集の宿題提出			
第4週	ジェルチップオーバーレイ	ジェルチップオーバーレイの弱点を発見する			毎回問題集の宿題提出			
第5週	ジェルチップオーバーレイ	ジェルチップオーバーレイの弱点を克服する			毎回問題集の宿題提出			
第6週	ジェルチップオーバーレイ デザイン	ジェルチップオーバーレイのデザインが (フラワー)描くための手順を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第7週	ジェルチップオーバーレイ デザイン	ジェルチップオーバーレイのデザインが (フラワー)描けるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第8週	ジェルチップオーバーレイ フレンチ	ジェルチップオーバーレイのフレンチを 描くための手順を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第9週	ジェルチップオーバーレイ フレンチ	ジェルチップオーバーレイのフレンチルックを 描けるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第10週	ジェルネイル検定 上級概要	テーブルセッティング、消毒管理を学ぶ			毎回問題集の宿題提出			
第11週	ジェルネイル検定 上級 試験項目実践①	時間内にすべての試験項目ができるようになる			毎回問題集の宿題提出			
第12週	ジェルネイル検定 上級 試験項目実践②	前回授業の反省点を修正できる			毎回問題集の宿題提出			
第13週	ジェルネイル検定 上級 試験項目実践③	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践			毎回問題集の宿題提出			
第14週	ジェルネイル検定 上級 試験項目実践③	ジェルネイル検定 中級 試験項目実践			毎回問題集の宿題提出			
第15週	模擬試験実施	模擬試験実施			毎回問題集の宿題提出			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ネイルⅢ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ジェルネイル(サロンワークデザイン・ジェルスカルプ・ジェルグラデーション・フレンチ) ・ネイル資格・試験の対策 ・就職対策							
授業の一般目標	JNAジェル検定中級検定取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	検定対策	各受験級の苦手克服						
第2週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第3週	ネイルチップ作製	SPCコンテスト用 フラットアート						
第4週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第5週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第6週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第7週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第8週		SPCコンテスト用 フラットアート						
第9週		ジェルアート ①						
第10週		ジェルアート ②						
第11週		ジェルアート ③						
第12週		ジェルアート ④						
第13週	サロンワーク アート	ジェルアート ⑤						
第14週		ジェルアート ⑥						
第15週		ジェルアート ⑦						
検定対策								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	解剖生理学Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・グループワーク・発表形式を取り入れた授業 チェックテストを実施し、学習した知識・技術の習得状況を自己管理する 学習の仕方を学び活用する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖生理学の応用を学び習得する</li> <li>学んだ知識を基に、お客様が納得する説明ができる</li> <li>INFA国際ライセンス国内卒業筆記試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)	基本的な知識を修得し応用に発展する。							
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	カルテ指導	カルテ指導						
	カルテ指導	口頭試問対策						
第2週	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説 骨、筋肉、皮膚						
	口頭試問対策	過去の口頭試問問題の解説 消化器、栄養学、呼吸器、排泄器						
第3週	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンス受験						
	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンス受験						
第4週	INFA国際ライセンス 受験後の振り返り	受験後の振り返り、ディスカッション、 フェイシャル・メイク試験への取り組み方の決定			感想文作成			
	皮膚学 復習	皮膚学復習テスト			小テスト			
第5週	皮膚学 応用	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能 真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き						
第6週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは 美しい素肌とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する 美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する						
第7週	皮膚生理学 皮膚の生理機能とは	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する						
	皮膚生理学 美しい素肌とは	美しい素肌の条件 美しい素肌の条件6つを理解する						
第8週	皮膚生理学 様々な状態での皮膚の変化	皮膚の汚れの種類 季節別による皮膚 気温と皮膚						
	皮膚生理学 皮膚の内面美容 概論	皮膚と自律神経、ホルモン、大脳間質の関係						
第9週	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌に与える影響						
	美しい肌になるための食生活について	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミンの働き ミネラルの働き カルシウムの働き 脂肪酸の働き			小テスト			
第10週	皮膚と紫外線	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 紫外線防御とSPF メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤						
第11週	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等 皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程						
第12週	アレルギーについて アトピー性皮膚炎について	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質 アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント						
第13週	にきびについて ①	にきびについて理解する にきびの症状と発症メカニズム 皮脂過剰原因、毛穴閉塞原因、炎症原因 にきびのスキンケアのポイントを理解する			小テスト			
第14週	ブラックヘッドについて	ブラックヘッドについて理解する						
	エステティック機器学について ①	エステティック機器学について理解する 機器の使用法、原理、仕組み						
	エステティック機器学について ②	電気的2重層について理解する						
第15週	皮膚とストレスの関係	皮膚とストレスの関係を理解する ストレスとホメオスタシス ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経			小テスト			
	皮膚と女性ホルモンの関係	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化 更年期と肌との関係						
	皮膚と睡眠の関係	皮膚と睡眠の関係を理解する 成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠 睡眠とホルモンの関係を理解する			小テスト			
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	エステ(フェイシャル)		単位数	8	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実技中心の授業。 学習プリントで技術の習得状況、未習得状況を自己管理する。 適宜チェックテストを実施し、テクニックを確実にする							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの効果・テクニックを習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で、必要なルール・マナー・守秘義務・清掃を習得する</li> <li>・社会に出て「サロンで働く」上で必要な時間管理能力を身につける</li> <li>・INFA国際ライセンス フェイシャルパスポート国内卒業試験合格</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学び理解したことを説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	学び理解したことについて自分の意見を伝える事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	解剖生理学に関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で解剖生理学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第2週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第3週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック	試験項目フルチェック						
第4週	INFA国際ライセンス(ボディ) フルボディチェック	模擬試験実施 修正点、改善点の理解						
第5週	INFA国際ライセンスボディ試験	INFA国際ライセンスボディ試験 実施						
第6週	フェイシャルケアの流れを理解する	フェイシャルケアの流れ、目的、肌状態のチェック フェイシャルケアの事前準備を理解する						
第7週	クレンジング ポイントクレンジング ネイルケア・カラー	デコルテマッサージの手順を理解する						
第8週	クレンジング ベースクレンジング ネイルケア・カラー	デコルテマッサージの手順を理解する フェイシャルマッサージの手順を理解する						
第9週	デコルテマッサージ イメージメイク	フェイシャルマッサージの手順を理解する						
第10週	デコルテマッサージ イメージメイク	ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック						
第11週	フェイシャルマッサージ イメージメイク ヘアアレンジ	クレンジング、デコルテ、フェイシャルマッサージ 苦手克服						
第12週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ	ベースクレンジング、ポイントクレンジング ふき取り デコルテマッサージ、フェイシャルマッサージ確認チェック						
第13週	エステティック機器 イメージメイク ヘアアレンジ	エステティック機器について理解する スチーマーの使用方法、イオン導入、ブラシクレンジング パック						
第14週	試験項目 実技チェック ①	エステティック機器について理解する スチーマーの使用方法、イオン導入、ブラシクレンジング パック						
第15週	試験項目 実技チェック ②	試験項目の一連の流れを理解する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	メイクアップ応用		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・必要に応じて視覚教材を使用</li> </ul>							
授業の一般目標	INFA国際ライセンスメイクアパスポort取得 INFA国際ライセンスフェイシャルアパスポort取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1週	メイクテクニック技術確認		セッティング、スキンケア、ベース、ポイントメイクの技術チェック					
第2週	メイクアップ理論		印象分析 パーツバランス 錯視効果					
第3週	ベースメイク アイブロウ		ベースメイク基礎チェック ベース、コンシーラー、 アイブロウ基礎チェック アーチ、ストレート					
第4週	アイメイク リップメイク		アイメイク基礎チェック グラデーション リップメイク基礎チェック					
第5週	パーティメイクとは何かを知る		メイクデッサンの作成 視覚教材の視聴					
第6週	パーティメイク実践①		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析しパーティに相応しいメイクを行う事が出来る					
第7週	パーティメイク実践②		前回の仕上がり振り返り改善することができる					
第8週	パーティメイク実践③		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析しパーティに相応しいメイクを30分で行う事が出来る					
第9週	ファンタジーメイクとは何かを知る		メイクデッサンの作成 視覚教材の視聴					
第10週	ファンタジーメイク実践①		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し幻想的なメイクを行う事が出来る					
第11週	ファンタジーメイク実践②		前回の仕上がり振り返り改善することができる					
第12週	ファンタジーメイク実践③		相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し幻想的なメイクを30分で 行う事が出来る					
第13週	ヘアアレンジ実践		パーティメイク、ファンタジーメイクに合うヘアアレンジテクニックを身につける事ができる					
第14週	トータルコーディネート		モデルに合うヘア、メイク、ドレスのトータルコーディネートを実践することができる					
第15週	総まとめ		模擬試験の実施					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	トータルコーディネーター		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ファッション、モードの移り変わりとともに、身体装飾の重要な部分として確立されたヘアスタイルとメイクアップについてメディアやアートを通して繰り返し参照され、再構築されていくそのスタイルの歴史や意味について考える。また、欧米と日本の化粧文化を比較しながら、ファッションとしての現代人の身体モードについて探る。							
授業の一般目標	ビューティスペシャリストとしての美容の知識、テクニックを実践しながら理解する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	デッサンの描き方	メイク道具を使ってデッサンを行う			ヘアメイク道具持参			
第2回	ファッションの歴史 (1920年～30年代)	社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する						
第3回	ヘアメイク実習	前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参			
第4回	ファッションの歴史 (1940年～50年代)	社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する						
第5回	ヘアメイク実習	前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参			
第6回	ファッションの歴史 (1960年～1970年代)	社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する						
第7回	ヘアメイク実習	前回の時代のヘアメイクを再現、実習する			ヘアメイク道具持参			
第8回	ファッションの歴史 (1980年～現代)	社会背景、ファッション、ヘアメイクを映画等の資料を見ながら理解する						
第9回	パーソナルヘアメイク	顔分析やパーソナルイメージを理解する			雑誌持参			
第10回	ヘアメイク実習 (キュート、フレッシュ)	テーマに合わせてヘアメイクをする			ヘアメイク道具持参			
第11回	ヘアメイク実習 (エレガント、クール)	テーマに合わせてヘアメイクをする			ヘアメイク道具持参			
第12回	イメージの傾向を読み取る ハーモニーとコントラスト	ファッション全体のイメージ傾向を理解する			雑誌持参			
第13回	今季コレクションのトレンド情報	今季のコレクションを見て、トレンドを理解する						
第14回	カラーージュ作成	課題テーマにあったカラーージュ作品をつくる			雑誌持参			
第15回	レポート、課題							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

--	--

科目名	エステ特論 I	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択科目	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技中心の授業、必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・ 必要に応じて視聴覚教材使用</li> <li>・ 適宜チェックテストを実施</li> </ul>							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ INFA国際ライセンス取得(フェイシャル)レベルの技術を身につけ、常に同じレベルの施術を提供する術を身に付ける</li> <li>・ 取り組みの中で忍耐力・思いやりの心・丁寧な立ち居振る舞いを身に付け社会生活で活用できる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回 ①・②	INFA国際試験対策-1	オールの通し 1 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第2回 ①・②	INFA国際試験対策-2	オールの通し 2 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第3回 ①・②	INFA国際試験対策-3	オールの通し 3 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第4回 ①・②	INFA国際試験対策-4	オールの通し 4 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第5回 ①・②	INFA国際試験対策-5	オールの通し 5 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第6回 ①・②	INFA国際試験対策-6	オールの通し 6 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第7回 ①・②	INFA国際試験対策-7	オールの通し 7 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第8回 ①・②	INFA国際試験対策-8	オールの通し 8 (計測・口頭試問あり) ※良かった部分と改善部分を交流し合う						
第9回 ①・②	INFA国際ライセンス受験	INFA国際ライセンスフェイシャル受験						
第10回 ①・②								
第11回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ①	スチューデントサロンのトリートメントメニューを計画する ボランティア現場研修のメニューを計画する						
第12回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ②	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内で施術できるようにする ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術できるようにする						
第13回 ①・②	スチューデントサロン ボランティア現場研修 プランニング ③	スチューデントサロントリートメントメニューを正しく時間内で施術できるようにする ボランティア現場研修のメニューを正しく時間内で施術できるようにする						
第14回 ①・②	期末テスト内容確認-1	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようにする						
第15回 ①・②	期末テスト内容確認-2	期末テスト課題を正しく時間内に施術できるようにする						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	パーツケア実習 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技中心の授業 必要に応じて講義形式を取り入れる</li> <li>・必要に応じて視覚教材を使用</li> </ul>							
授業の一般目標	・WAX脱毛、ネイルケア ネイルカラーリング メイク等 パーツ部分を美しくするための技術を身につける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	WAX、ペディキュア	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う事ができる キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第2回	バスタパック ペディキュア	乳腺解剖学やODT、バスタパックの成分を理解し、正しくバスタパックを行う事が出来る キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第3回	INFA国際試験 会場設営	INFA国際試験の会場設営や備品の説明を受験者に説明する						
第4回	INFA国際試験の振り返り	INFA国際試験(ボティ)の受験を通して気付いた事、成長した点、今後の目標をディスカッションする				感想文提出		
第5回	ネイルケア	爪の構造を理解して、正しく消毒・ファイル・キューティクルクリンができるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第6回	ネイルカラー	キューティクルライン、サイド、エッジを意識し、ムラ無くネイルカラーをできるようにする(相モデルにて)				仕上がりチェック		
第7回	メイクアップ基礎 ベースメイク アイブロウ	骨格や顔の立体感について学びローライト・ハイライトを入れる事が出来るようになる 骨格にあったアイブロウを描けるようになる				パーティメイクの切り抜き提出日		
第8回	メイクアップ基礎 アイメイク リップメイク	モデルの目の形(一重、二重、奥二重)に合わせたアイメイクができるようになる モデルのリップラインに合わせた魅力的なリップメイクをする事が出来る						
第9回	パーティメイク実践 30分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。						
第10回	パーティメイク実践 20分にて	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを20分で行う事が出来るようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第11回	パーティ用ヘアアレンジ	ヘアアレンジ基礎で学んだ事を活かし、モデルの骨格とドレスに合うパーティヘアを作ることができるようになる				パーティ用ヘアの切り抜き提出日		
第12回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第13回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー、メイクアップ、ヘアアレンジのトータルコーディネートを行い、全体バランスを確認し改善点を見つける。				仕上がりチェック		
第14回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック		
第15回	ネイルカラー～パーティメイク～パーティヘア	ネイルカラー10分 メイクアップ 20分 ヘアアレンジ5分の時間内で実施出来るようになる				仕上がりチェック		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	基本IT技術	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	① WindowsとWord2007の基本操作について ② Wordの機能についての理解と利用 ③ Excelの基本的な操作方法や表の作成・編集 ④ 関数についての理解とグラフの作成 ⑤ 文書校正機能やワークシートの操作について							
授業の一般目標	Windows、Word・Excelの基礎を学び、文書や表などを作成・編集できるようにする。 機能について理解をし、活用できるようにする。 必要な式の作成、考え方を学び、適切な式を入力できるようにする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	授業のオリエンテーション	授業に関する説明と注意事項、アンケート 課題提出用メールアドレスの取得とWindowsの基礎について						
第2回	授業の準備とWordの基礎	課題提出用メールアドレスの取得(欠席者と未取得者) Wordの画面の名称と機能						
第3回	Wordの基本	漢字の変換・文節、読みのわからない漢字の挿入方法 ビジネス文書の構成について						
第4回	ページと書式の設定	ページ設定と書式設定						
第5回	行・段落の設定	段落番号・行間・インデントなどの設定						
第6回	表とヘッダー・フッター	表の挿入・編集とヘッダーフッターの設定						
第7回	オブジェクトの挿入・編集	ワードアートや図形、 図やテキストボックスに対する操作						
第8回	Word総合問題	P検3級Word実技問題に順守した問題						
第9回	Excelの基礎	画面の名称や働き、演算子やオートフィル機能について						
第10回	Excelの基本	コピー・移動、関数について(合計を求める)						
第11回	オートSUMボタンを利用した関数	平均、最大・最小値の求め方と表の書式設定。 オートSUMボタンでの設定方法						
第12回	絶対参照と関数の利用	相対参照と絶対参照について 関数の挿入ボタンを利用した関数の入力(セルの個数)						
第13回	グラフの作成と編集	グラフの挿入とグラフの書式設定						
第14回	ページ設定とデータベース機能	ページ設定と表示モードの変更、文書校正について データの並べ替え						
第15回	ワークシートの操作と総合問題	ワークシートに関する設定とP検3級に遵守した Excelの総合問題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	プレゼンテーション		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	「仕事の実践」の知識を活かしながら、プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、プレゼンテーションの基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
授業の一般目標	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	プレゼンテーションとは コミュニケーションとプレゼンテーション	プレゼンテーションの種類と定義について コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて						
第2回	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション						
第3回	プレゼンテーション準備と流れ1	聞き手の分析や目的の明確化、プラン作成やツールについて						
第4回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ						
第5回	グループごとにプレゼンテーション	グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
第6回	事業計画書の作り方 事業計画書は何故必要か？	成功する事業計画書をつくる7つのプロセス 事業計画書を構成する5つのパート 事業計画書の全体像をつかむ						
第7回	想いをまとめながら自分の戦場を見極める	事業コンセプト、5年後のビジョン、事業ドメインの決定						
第8回	市場を分析し、勝てる戦略をまとめる	事業が求められる社会的背景をまとめる 市場規模を分析する 競合他社の動向をまとめる 顧客のメリットをまとめる 弊社の強みをまとめる						
第9回	戦略を戦術に落とし込む	商品、サービス内容をまとめる 販売戦略をまとめる ビジネスモデルをまとめる						
第10回	目的地までのロードマップを作成する	売上げ計画を立てる、売上げ原価計画をたてる 人員計画をたてる、設備計画をたてる 利益計画をたてる						
第11回	勝利の方程式をストーリーにまとめる	一言で商品の本質を表現する 他者に負けない強みを短い言葉で表す 他社がマネできない独自の戦略は何か 強みを維持する仕組みはどこか			第5回～第11回の範囲の小テスト実施			
第12回	事業計画書の作成① プレゼン資料の作成	これまで学習してきたことを活かし、実際にパワーポイントにてプレゼン資料を作成する						
第13回	事業計画書の作成② 原稿の作成	前回作成したプレゼン資料の原稿を作成する。						
第14回	グループごとにプレゼンテーション①	グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
第15回	グループごとにプレゼンテーション②	グループごとにプレゼンテーション発表 聞き手はチェックシートを用い、発表の仕方、内容をチェックする						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				



科目名	ビジネス英語		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	サロンでの対応について色々な場面で会話を学ぶ。授業は簡単な会話を中心としビューティ分野に必要な表現も併せて学ぶ。							
授業の一般目標	英語でのコミュニケーションができるようになるのが目標。中学1.2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやり取りができる力を身につける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	事前テストの実施	英単語、レベルチェック						
第2回	Nice to meet you	自己紹介ができる。 初対面の挨拶ができる。						
第3回	How' re you this morning?	相手の調子を尋ねたり、自分の調子を言うことができる。あいづちを打つことができる。						
第4回	What do you do in your free time?	余暇の過ごし方について尋ねたり、答えたりすることができる。種類を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第5回	Where' re you from?	天気の話をもきっかけに見知らぬ人と会話を始めることができる。出身地を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第6回	How much is it?	値段を尋ねたり、答えたりすることができる。数字を正しく言えることができる。						
第7回	May I have your name, please?	受付で約束があることを伝えることができる。位置を表す表現を使うことができる。						
第8回	Where' s the nearest bookstore?	道を尋ねたり、答えたりすることができる。						
第9回	How was your weekend?	趣味について尋ねたり、答えたりすることができる。						
第10回	Nice talking with you.	自然に会話を終わらせることができる。色々な別れの挨拶をすることができる。別れの挨拶に返答することができる。						
第11回	Hou about some paperbacks?	第三者の誕生日や好きなことを尋ねたり、答えたりすることができる。提案する表現が使える。月や日付を正しく言えることができる。						
第12回	Do you have a fitness center?	Haveを使って設備やサービスについて質問できる。序数を使って何階かを伝えることができる。Inやnext toをつかって場所を伝えることができる。						
第13回	業務内で想定される会話	ビューティ業界に就職し、海外のお客様をお迎えした際想定される会話の実践						
第14回	色々な場面の会話	自分が伝えたい事を英語で伝えられるようになる						
第15回	振り返りテストとE C P Tテストの実施							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>			

科目名	サロン運営 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる</li> <li>・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	オリエンテーション	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える						
第4週	サロン運営準備物の作成	準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する						
第5週	接客応対について考える	接客応対のシュミレーションを実施			DM発送 HP、ブログUP			
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第7週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第8週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第9週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第10週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第11週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第12週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第13週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第14週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第15週	振り返り実施	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	サロン運営Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる</li> <li>・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる</li> </ul>							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	オリエンテーション	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える						
第4週	サロン運営準備物の作成	準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する						
第5週	接客対応について考える	接客対応のシュミレーションを実施			DM発送 HP、ブログUP			
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第7週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第8週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第9週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第10週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第11週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第12週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第13週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第14週	サロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> <li>・ 組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる</li> <li>・ お客様に満足していただける施術と接客ができる</li> </ul>						
第15週	振り返り実施	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

科目名	ボランティア		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。							
授業の一般目標	ボランティアの理念を説明できる。ボランティア活動の基本原則を説明できる。実際のボランティア活動を説明できる。ボランティア活動参加の意義を説明できる。ボランティア活動に参加する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ボランティアの理念	(無償性、自主性、公益性)						
第2回	ボランティア活動の基本原則	自分からすすんで行動する一とにも支え合い一学び合う「見返りを求めないよりよい社会をつくるを学ぶ						
第3回	実際のボランティア活動	実際のボランティア活動について話し合う						
第4回	ボランティア参加の意義	ボランティア活動は、他人同士がいるような場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学びあって生きる喜びを確かめ合う機会を与えるものであることを確認する						
第5回	自分にあったボランティア活動は?	自分にあったボランティア活動について考察する。						
第6回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第7回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第8回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第9回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第10回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第11回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第12回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第13回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第14回	ボランティア活動	ボランティア活動に参加						
第15回	振り返り	レポート作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/</a>				

## 2019 ビューティスペシャリスト科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 2019年4月1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。